



## 平成20年 3月期 中間決算短信

平成19年11月7日

上場会社名 日東紡

上場取引所

東証・大証第1部

コード番号 3110

URL <http://www.nittobo.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 南園 克己

問合せ先責任者 (役職名)総務企画本部経理部長 (氏名) 赤井 格 TEL (03)3514-3810

半期報告書提出予定日 平成19年12月21日

(百万円未満切捨て)

## 1. 19年9月中間期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	68,288	1.0	5,642	10.3	5,532	8.6	3,576	95.1
18年9月中間期	67,588	8.7	5,115	73.5	5,095	63.3	1,832	3.1
19年3月期	138,775	—	11,379	—	11,436	—	4,615	—

	1株当たり中間 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	14	47	—	—
18年9月中間期	7	41	—	—
19年3月期	18	66	—	—

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 334百万円 18年9月中間期 318百万円 19年3月期 731百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
19年9月中間期	163,498	—	74,808	—	44.5	294	41	
18年9月中間期	163,068	—	68,880	—	41.1	271	34	
19年3月期	164,910	—	72,025	—	42.5	283	68	

(参考) 自己資本 19年9月中間期 72,772百万円 18年9月中間期 67,090百万円 19年3月期 70,132百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	百万円	円
19年9月中間期	5,393	—	△1,579	—	△3,440	—	20,799	—
18年9月中間期	2,783	—	△1,606	—	1,858	—	19,496	—
19年3月期	9,760	—	△3,850	—	△2,043	—	20,370	—

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	—	—	3	0	3	0
20年3月期(実績)	—	—	—	—	—	—
20年3月期(予想)	—	—	3	0	3	0

## 3. 20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	140,000	0.9	11,500	1.1	11,500	0.6	5,500	19.2	22	24

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔(注) 詳細は、17ページ「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」及び19ページ「セグメント情報（事業区分の方法の変更）」をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 19年9月中間期 247,677,560株 18年9月中間期 247,677,560株 19年3月期 247,677,560株

② 期末自己株式数 19年9月中間期 495,928株 18年9月中間期 419,721株 19年3月期 456,494株

(注) 1株当たり中間(当期)純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、23ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

## (参考) 個別業績の概要

## 1. 19年9月中間期の個別業績（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

## (1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	41,164	0.8	2,872	7.1	3,126	10.7	2,088	—
18年9月中間期	40,828	10.6	2,681	192.2	2,823	173.5	71	△85.5
19年3月期	82,638	—	5,872	—	6,792	—	1,610	—

	1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭
19年9月中間期	8	45
18年9月中間期	0	29
19年3月期	6	51

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年9月中間期	117,634	60,619	51.5	245	24
18年9月中間期	118,053	58,286	49.4	235	73
19年3月期	115,452	59,833	51.8	242	03

(参考) 自己資本 19年9月中間期 60,619百万円 18年9月中間期 58,286百万円 19年3月期 59,833百万円

## 2. 20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	83,000	0.4	6,200	5.6	7,000	3.1	3,000	86.3	12	13

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、本資料の3～6ページに記載の「1 経営成績」をご参照ください。

## 1 経営成績

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当中間期の経営成績

当中間期におけるわが国経済は、原油価格高騰などの影響が懸念されつつも、堅調な企業収益や設備投資の増加などを背景に引続き緩やかな回復基調で推移しました。

繊維業界は、天候不順の影響により消費が伸び悩むなど全体的に低調となりました。

建材業界は、公共投資の漸減に加え、建築基準法改正に伴う建築確認審査の厳格化の影響により、民間の建築着工が居住用途・非居住用途ともに大きく減少するなど低調に推移しました。

グラスファイバー業界は、IT関連向け需要は回復基調となり、また自動車や家電向けなども堅調に推移しましたが、建築・住宅機器向けは建築着工数減少の影響を受け伸び悩みました。

このような環境の下、当社グループは、「事業構造改革の推進」と「事業領域の深掘りと拡大」を柱とした中期経営計画「Relay(リレー)101」の2年目として、事業力の一段の強化を図ってまいりました。

この結果、当中間期の企業集団の売上高は682億88百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は56億42百万円(前年同期比10.3%増)、経常利益は55億32百万円(前年同期比8.6%増)となり、当期純利益は35億76百万円(前年同期比95.1%増)となりました。

次に当社グループの事業の種類別に概況を申し上げます。

なお、当中間期より事業区分の変更を行っております。それに伴い、前年同期比につきましては各事業区分の前年同期実績を変更後に組み替えて比較しております。事業区分変更の内容につきましては19ページをご参照ください。

#### [繊維事業]

ストレッチ素材C・S・Yの原糸素材は、引き続き厳しい事業環境下にあります。デニム用途が好調に推移し、また海外向けテキスタイルの拡販やアパレル製品展開などの強化策の浸透などにより、前年同期並みの売上を確保しました。

接着芯地の衣料資材は、昨年実施した販売組織統合による効率的な販売体制の下、差別化新商品などの売上を伸ばし、また日東紡(中国)有限公司の販売も堅調に推移したことにより増収となりました。

この結果、当事業は売上高60億7百万円と前年同期比4.5%の増収となり、営業利益は2億52百万円と前年同期比282.6%の増益となりました。

#### [建材事業]

断熱材は、ロックウール・グラスウールともに設備・プラントなど非住宅向けは堅調に推移したものの新設住宅着工数減少の影響により住宅向けが低調となり、減収となりました。

内装建材は、主力の不燃吸音天井板は、汎用品の需要回復の遅れはありましたが首都圏の大型再開発ビルへの採用などにより売上は前年同期並みとなりました。一方床材は、一般タイル・コンビニエンスストア向け非塩ビ系タイルともに伸び悩みました。

環境事業として行っているアスベスト除去工事は、需要の一服感と参入業者の急増による競争激化により減収となりました。

エンジニアリング事業は、音響関係工事における大型物件の完工などにより増収となりま

した。

この結果、当事業は売上高260億23百万円と前年同期比3.6%の減収となり、営業利益は6億80百万円と前年同期比31.3%の減益となりました。

#### [グラスファイバー事業]

プリント配線基板用のグラスファイバーヤーンとクロスは、市況の回復ならびに高機能品の需要拡大により売上を伸ばしました。

強化プラスチック用グラスファイバーは、住宅機器向けにおいて住宅着工数減少の影響を受けましたが、高付加価値品の拡販などにより増収となりました。

産業資材用クロスは、建築向けなどが伸び悩みましたが、膜用クロスなど好調分野に支えられ前年同期並みの売上となりました。

この結果、当事業は売上高288億65百万円と前年同期比1.3%の増収となり、営業利益は40億6百万円と前年同期比12.1%の増益となりました。

#### [その他の事業]

臨床検査薬を中心としたメディカル事業は、国内向け新規顧客や検査項目の開拓ならびに海外販売の伸長などにより増収となりました。

飲料事業は、一昨年への能力増強に対応した生産体制の強化と新規顧客の拡大により順調に売上を伸ばしました。

機能性高分子のスペシャリティケミカル事業は、家庭用品向け原料などが堅調に推移し増収となりました。

また、不動産サービスなどの事業も総じて堅調に推移しました。

この結果、当事業は売上高73億92百万円と前年同期比16.5%の増収となり、営業利益は10億19百万円と前年同期比19.8%の増益となりました。

#### ②通期の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は引き続き堅調に推移するものと予想されますが、米  
国経済や為替の動向、原油高騰に起因する原材料等の価格動向、さらには改正建築基準法施  
行の影響など先行きの不透明感が強く予断を許さない状況にあります。

このような環境の下、当社グループは中期経営計画「Relay（リレー）101」の2年目として  
引続き「事業構造改革」に取り組むとともに、「事業領域の深掘りと拡大」を促進し、あわ  
せて「コーポレートガバナンス体制の整備」を図ることにより、企業価値の更なる向上を  
目指してまいります。

平成20年3月期の連結業績としましては、売上高1,400億円、営業利益115億円、経常利益  
115億円、当期純利益55億円を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

①当期の財政状態及びキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

## (財政状態)

当中間期末における総資産は1,634億98百万円となり、前期末に比べ14億11百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少などです。

負債は、借入金の返済などにより前期末に比べ41億94百万円減少し、886億90百万円となりました。

純資産は748億8百万円となり、自己資本比率は44.5%と前期末に比べ2.0ポイント上昇しました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前中間純利益58億83百万円や減価償却費27億55百万円、法人税等の支払額23億61百万円などにより53億93百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得23億78百万円などにより15億79百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減少額26億63百万円、配当金の支払額7億41百万円などにより34億40百万円の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は207億99百万円となり、前期末に比べ4億29百万円増加しました。

②キャッシュ・フロー関連指標のトレンドは次の通りであります。

	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成19年9月 中間期
自己資本比率	37.8	38.1	42.2	42.5	44.5
時価ベースの自己資本比率	29.6	35.0	56.3	64.6	50.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	10.8	3.6	—	3.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	4.5	14.8	—	15.2	17.8

\*自己資本比率：(純資産－少数株主持分)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

①基本方針

当社は、株主に対する配当政策を経営の最重要事項の1つとして位置づけ、収益動向、企業体質強化のための内部留保の充実などを総合的に勘案し、継続的・安定的に配当することを基本方針としております。

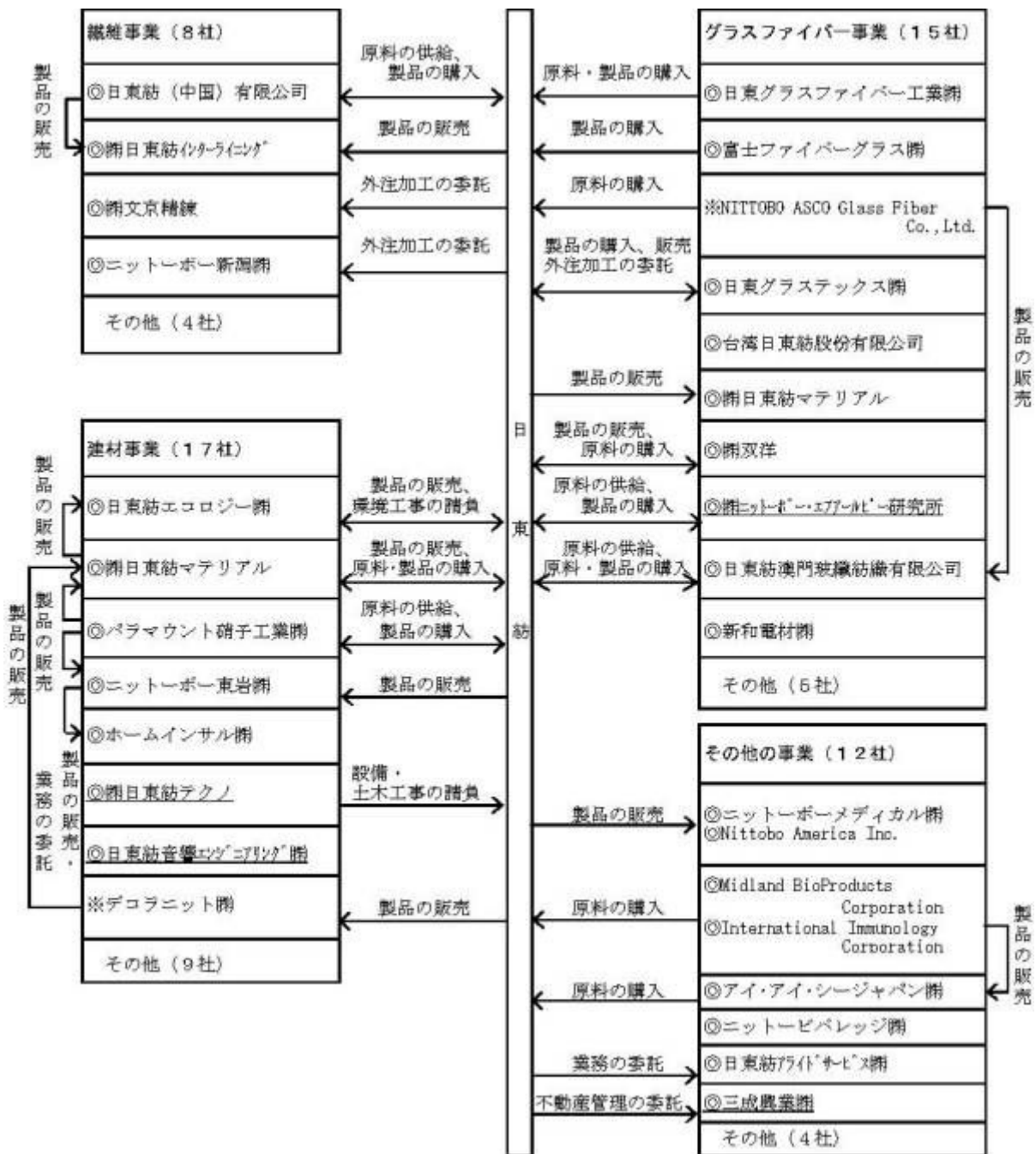
内部留保資金につきましては、高付加価値商品への転換促進や新規事業領域への展開など新たな価値創造に向けた積極投資及び生産性や品質の向上など事業競争力強化に直結する投資に活用してまいります。

②当期の配当

当期の期末配当金につきましては、前期と同様に1株当たり3円とさせていただく予定であります。

2 企業集団の状況

当社の企業集団は、平成19年9月30日現在、日東紡績株式会社（当社）、子会社41社および関連会社10社で構成され、繊維事業、建材事業、グラスファイバー事業およびその他の事業を営んでいます。当社企業集団を事業系統図によって示すと、以下の通りとなります。



- (注) ・◎印は連結会社、※印は持分法適用会社となっています。  
 ・各事業毎の会社数は、複数事業を営んでいる場合にはそれぞれに含めて数えています。  
 ・下線の会社は、当中間連結会計期間より事業区分を変更しています。  
 ・(株)日東紡テクノおよび日東紡音響エンジニアリング(株)は、その他の事業から建材事業に変更しています。  
 ・(株)ニッターポーエフアールピー研究所は建材事業からグラスファイバー事業に変更しています。  
 ・三成興業(株)を含む不動産・サービス事業はその他の事業に統合しています。

### 3 経営方針

平成19年3月期決算短信(平成19年5月11日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.nittobo.co.jp/>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>



## 4 中間連結財務諸表

## (1) 中間連結貸借対照表

区分	注記 番号	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)								
I								
1		19,534		20,848		20,419		
2		44,687		45,140		46,564		
3		25,465		25,658		24,879		
4		2,399		1,908		2,050		
5		188		171		171		
6		1,429		1,361		1,281		
7		△179		△121		△138		
		93,526	57.4	94,966	58.1	95,229	57.7	
II								
1								
(1)		16,588		16,742		16,910		
(2)		14,290		12,992		13,765		
(3)		17,653		17,658		17,673		
(4)		875		812		699		
(5)		1,071		1,101		1,107		
		50,479	31.0	49,307	30.2	50,156	30.4	
2		1,590	0.9	1,677	1.0	1,636	1.0	
3								
(1)		12,742		11,894		12,295		
(2)		60		47		52		
(3)		1,600		2,705		2,374		
(4)		3,778		3,172		3,869		
(5)		△710		△272		△704		
		17,471	10.7	17,547	10.7	17,887	10.9	
		69,541	42.6	68,532	41.9	69,680	42.3	
		163,068	100.0	163,498	100.0	164,910	100.0	

区分	注記 番号	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
I 流動負債								
1	支払手形及び買掛金	26,814		26,511		28,041		
2	短期借入金	8,039		5,092		6,127		
3	一年以内返済予定 長期借入金	5,439		13,124		10,104		
4	未払金	2,979		1,604		2,282		
5	未払法人税等	1,081		2,192		2,763		
6	繰延税金負債	31		35		37		
7	未払消費税等	291		288		324		
8	賞与引当金	2,124		2,244		2,209		
9	構造改善引当金	471		110		212		
10	その他	4,524		4,832		3,889		
	流動負債合計	51,798	31.8	56,036	34.3	55,992	33.9	
II 固定負債								
1	長期借入金	24,283		13,070		17,696		
2	繰延税金負債	49		124		41		
3	退職給付引当金	11,953		12,758		12,431		
4	修繕引当金	3,427		3,953		3,949		
5	その他	2,675		2,745		2,773		
	固定負債合計	42,389	26.0	32,654	20.0	36,893	22.4	
	負債合計	94,187	57.8	88,690	54.3	92,885	56.3	
(純資産の部)								
I 株主資本								
1	資本金	19,699	12.1	19,699	12.1	19,699	12.0	
2	資本剰余金	23,062	14.1	23,062	14.1	23,062	14.0	
3	利益剰余金	21,524	13.2	27,141	16.6	24,306	14.7	
4	自己株式	△77	△0.0	△109	△0.1	△92	△0.1	
	株主資本合計	64,208	39.4	69,793	42.7	66,976	40.6	
II 評価・換算差額等								
1	その他有価証券 評価差額金	3,171	1.9	2,619	1.6	3,175	1.9	
2	為替換算調整勘定	△289	△0.2	358	0.2	△19	△0.0	
	評価・換算差額等 合計	2,881	1.7	2,978	1.8	3,155	1.9	
III 少数株主持分								
	少数株主持分	1,789	1.1	2,036	1.2	1,892	1.2	
	純資産合計	68,880	42.2	74,808	45.7	72,025	43.7	
	負債純資産合計	163,068	100.0	163,498	100.0	164,910	100.0	

## (2) 中間連結損益計算書

区分	注記 番号	前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)			
I 売上高			67,588	100.0		68,288	100.0	138,775	100.0	
II 売上原価			50,613	74.9		50,676	74.2	103,581	74.6	
売上総利益			16,974	25.1		17,612	25.8	35,194	25.4	
III 販売費及び一般管理費			11,858	17.5		11,970	17.5	23,814	17.2	
営業利益			5,115	7.6		5,642	8.3	11,379	8.2	
IV 営業外収益										
1 受取利息		39			70		101			
2 受取配当金		115			108		139			
3 持分法による 投資利益		318			334		731			
4 その他		457	930	1.3	427	941	1.3	920	1,892	1.3
V 営業外費用										
1 支払利息		314			318		643			
2 退職給付会計基準 変更時差異償却額		279			287		577			
3 その他		356	951	1.4	444	1,051	1.5	613	1,835	1.3
経常利益			5,095	7.5		5,532	8.1		11,436	8.2
VI 特別利益										
1 固定資産売却益		11			693		13			
2 投資有価証券売却益		614			—		614			
3 修繕引当金戻入益		—			311		—			
4 その他		34	660	1.0	16	1,021	1.5	43	671	0.5
VII 特別損失										
1 固定資産処分損		136			167		289			
2 たな卸資産整理損		46			—		744			
3 環境整備費用		—			498		—			
4 構造改善特別損失		2,471			—		2,710			
5 その他		147	2,802	4.1	3	670	1.0	357	4,101	2.9
税金等調整前 中間(当期)純利益			2,953	4.4		5,883	8.6		8,006	5.8
法人税、住民税 及び事業税		958			1,931		3,346			
法人税等調整額		94	1,053	1.6	240	2,172	3.2	△100	3,246	2.4
少数株主利益			68	0.1		135	0.2		145	0.1
中間(当期)純利益			1,832	2.7		3,576	5.2		4,615	3.3

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	19,699	23,062	20,455	△ 64	63,153
中間連結会計期間中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における利益処分による利益配当	—	—	△ 741	—	△ 741
中間純利益	—	—	1,832	—	1,832
自己株式の取得	—	—	—	△ 13	△ 13
新規連結に伴う利益剰余金の減少高	—	—	△ 21	—	△ 21
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	1,069	△ 13	1,055
平成18年9月30日残高(百万円)	19,699	23,062	21,524	△ 77	64,208

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(百万円)	4,180	△ 133	4,047	1,741	68,942
中間連結会計期間中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における利益処分による利益配当	—	—	—	—	△ 741
中間純利益	—	—	—	—	1,832
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 13
新規連結に伴う利益剰余金の減少高	—	—	—	—	△ 21
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△ 1,009	△ 156	△ 1,166	48	△ 1,117
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	△ 1,009	△ 156	△ 1,166	48	△ 62
平成18年9月30日残高(百万円)	3,171	△ 289	2,881	1,789	68,880

当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高(百万円)	19,699	23,062	24,306	△92	66,976
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△741	—	△741
中間純利益	—	—	3,576	—	3,576
自己株式の取得	—	—	—	△17	△17
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	2,834	△17	2,816
平成19年9月30日残高(百万円)	19,699	23,062	27,141	△109	69,793

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高(百万円)	3,175	△19	3,155	1,892	72,025
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△741
中間純利益	—	—	—	—	3,576
自己株式の取得	—	—	—	—	△17
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△555	378	△176	143	△33
中間連結会計期間中の変動額合計(百万円)	△555	378	△176	143	2,783
平成19年9月30日残高(百万円)	2,619	358	2,978	2,036	74,808

## 前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	19,699	23,062	20,455	△64	63,153
連結会計年度中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における利益処分による利益配当	—	—	△741	—	△741
当期純利益	—	—	4,615	—	4,615
自己株式の取得	—	—	—	△28	△28
新規連結に伴う利益剰余金の減少高	—	—	△21	—	△21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	—	—	3,851	△28	3,823
平成19年3月31日残高(百万円)	19,699	23,062	24,306	△92	66,976

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(百万円)	4,180	△133	4,047	1,741	68,942
連結会計年度中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における利益処分による利益配当	—	—	—	—	△741
当期純利益	—	—	—	—	4,615
自己株式の取得	—	—	—	—	△28
新規連結に伴う利益剰余金の減少高	—	—	—	—	△21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△1,005	113	△892	151	△741
連結会計年度中の変動額合計(百万円)	△1,005	113	△892	151	3,082
平成19年3月31日残高(百万円)	3,175	△19	3,155	1,892	72,025

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

区分	注記 番号	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益		2,953	5,883	8,006
減価償却費		2,496	2,755	5,336
固定資産減損損失		39	—	180
貸倒引当金の増加(△減少)額		169	△ 449	121
退職給付引当金の増加(△減少)額		△ 609	326	△ 131
修繕引当金の増加(△減少)額		△ 743	3	△ 221
受取利息及び受取配当金		△ 155	△ 178	△ 241
支払利息		314	318	643
投資有価証券の売却損益・評価損		△ 614	—	△ 612
構造改善特別損失		2,471	—	2,710
為替差損益		△ 1	△ 1	10
持分法による投資損益		△ 318	△ 334	△ 731
固定資産の売却処分損益		125	△ 527	276
売上債権の減少(△増加)額		△ 1,574	1,464	△ 3,413
未払消費税等の増加(△減少)額		66	△ 36	99
たな卸資産の減少(△増加)額		△ 500	△ 705	151
仕入債務の増加(△減少)額		2,455	△ 1,595	3,736
その他営業資産の増減額		△ 205	464	△ 107
その他営業負債の増減額		838	831	△ 445
その他(純額)		4	△ 88	△ 226
(小計)		7,211	8,129	15,142
利息及び配当金の受取額		147	180	954
利息の支払額		△ 299	△ 302	△ 632
構造改善に伴う支出		△ 1,994	△ 252	△ 2,667
法人税等の支払額		△ 2,282	△ 2,361	△ 3,037
営業活動による キャッシュ・フロー		2,783	5,393	9,760

区分	注記 番号	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ・ フロー計算書
		(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の純減少額		115	—	105
固定資産の取得による支出		△ 2,513	△2,378	△4,770
固定資産の売却による収入		26	777	33
投資有価証券の取得による支出		△ 8	△0	△11
投資有価証券の売却による収入		723	—	723
貸付けによる支出		△0	△0	△153
貸付金の回収による収入		39	6	217
その他(純額)		11	16	4
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 1,606	△1,579	△3,850
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加(△減少)額		1,494	△1,063	△456
長期借入れによる収入		4,240	700	5,400
長期借入金の返済による支出		△ 3,113	△2,300	△6,191
親会社による配当金の支払額		△ 738	△741	△744
その他(純額)		△ 23	△35	△51
財務活動による キャッシュ・フロー		1,858	△3,440	△2,043
IV 現金及び現金同等物に係る 換算差額		9	56	54
V 現金及び現金同等物の増加額		3,045	429	3,920
VI 現金及び現金同等物の期首残高		16,398	20,370	16,398
VII 新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額		51	—	51
VIII 現金及び現金同等物の中間期末 (期末)残高		19,496	20,799	20,370



(5) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

下記(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更以外は、最近の半期報告書(平成18年12月26日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略している。

(6) 中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当中間連結会計期間より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益は、27百万円減少している。

なお、セグメント情報に与える影響額は、当該箇所に記載している。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上している。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前中間純利益は、それぞれ226百万円減少している。

なお、セグメント情報に与える影響額は、当該箇所に記載している。

## (セグメント情報)

## 1 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	繊維 事業 (百万円)	建材 事業 (百万円)	グラスフ アイバー 事業 (百万円)	不動産・ サービス 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	6,103	26,127	26,610	793	7,953	67,588	—	67,588
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	33	75	286	—	272	667	(667)	—
計	6,136	26,203	26,896	793	8,226	68,255	(667)	67,588
営業費用	6,106	25,318	23,308	525	7,514	62,773	(300)	62,472
営業利益	29	885	3,588	267	711	5,482	(367)	5,115

当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	繊維 事業 (百万円)	建材 事業 (百万円)	グラスフ アイバー 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対 する売上高	6,007	26,023	28,865	7,392	68,288	—	68,288
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23	211	371	255	862	(862)	—
計	6,031	26,234	29,236	7,648	69,150	(862)	68,288
営業費用	5,778	25,554	25,230	6,628	63,191	(545)	62,646
営業利益	252	680	4,006	1,019	5,959	(317)	5,642

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	繊維 事業 (百万円)	建材 事業 (百万円)	グラスフ アイバー 事業 (百万円)	不動産・ サービス 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	12,851	54,119	53,226	1,605	16,973	138,775	—	138,775
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	67	184	668	—	537	1,457	(1,457)	—
計	12,918	54,303	53,894	1,605	17,511	140,233	(1,457)	138,775
営業費用	12,679	52,184	46,264	1,070	15,835	128,033	(636)	127,396
営業利益	238	2,119	7,630	534	1,676	12,200	(820)	11,379

(注) 1 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っている。

## 2 各事業の主な製品

### ① 前中間連結会計期間及び前連結会計年度

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 繊維事業       | ……コアスパン糸、ストレッチ製品、芯地製品、二次製品                 |
| (2) 建材事業       | ……床材、不燃吸音天井板、ロックウール製品、グラスウール製品、FRP採光板      |
| (3) グラスファイバー事業 | ……グラスファイバー製品、電子関連材料                        |
| (4) 不動産・サービス事業 | ……ビル賃貸業、スポーツ施設運営、保険代理業                     |
| (5) その他の事業     | ……プラント、メディカル、音響エンジニアリング、清涼飲料水、スペシャリティケミカルス |

### ② 当中間連結会計期間

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 繊維事業       | ……コアスパン糸、ストレッチ製品、芯地製品、二次製品                      |
| (2) 建材事業       | ……床材、不燃吸音天井板、ロックウール製品、グラスウール製品、プラント、音響エンジニアリング  |
| (3) グラスファイバー事業 | ……グラスファイバー製品、電子関連材料、FRP採光板                      |
| (4) その他の事業     | ……メディカル、清涼飲料水、スペシャリティケミカルス、ビル賃貸業、スポーツ施設運営、保険代理業 |

## 3 事業区分の方法の変更

① 当社グループは、平成18年度を初年度とする中期経営計画「R e l a y 1 0 1」を推進中であるが、計画遂行力の強化と加速化のため、平成19年度より新たな体制で推進していくことを目的として事業部門の改編を実施した。

これは、事業運営上の関連性の高い製品について事業部門によるグループ会社を含めた一体運営を図ることにより更なる事業拡大を目指すとともに、一方において部門間の垣根を越えた新規事業の開発、育成の推進体制を強化するものである。

これを受け、当中間連結会計期間より以下の通り事業区分の方法を変更した。

- ・「繊維事業」に含めていた芯地製品の一部（機能資材関連製品）は、繊維事業製品との関連性を見直し、今後新たな事業としての育成を図るため「その他の事業」に含めることとした。
- ・「建材事業」に含めていたFRP採光板は、製品の種類・性質の類似性等を勘案し、グラスファイバー製品としての新たな用途展開を図るため「グラスファイバー事業」に含めることとした。
- ・「その他の事業」に含めていたプラント、音響エンジニアリングは、工事物件情報の共有化による拡販や、技術ノウハウの新商品・新用途開発への活用を図るため、「建材事業」に含めることとした。

なお、「不動産・サービス事業」は、賃貸用商業施設売却などにより事業規模が縮小したため、「その他の事業」に統合した。

- ② 前中間連結会計期間及び前連結会計年度のセグメント情報を当中間連結会計期間で用いた事業区分の方法により区分すると以下の通りである。

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	繊維事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	グラスファイバー 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,751	26,998	28,491	6,346	67,588	—	67,588
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26	171	309	260	768	(768)	—
計	5,777	27,169	28,801	6,607	68,356	(768)	67,588
営業費用	5,711	26,178	25,226	5,756	62,873	(401)	62,472
営業利益	66	991	3,574	850	5,482	(367)	5,115

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	繊維事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	グラスファイバー 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,113	57,025	56,808	12,828	138,775	—	138,775
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	54	353	728	489	1,626	(1,626)	—
計	12,168	57,378	57,537	13,317	140,401	(1,626)	138,775
営業費用	11,875	54,672	49,932	11,721	128,201	(805)	127,396
営業利益	292	2,706	7,604	1,596	12,200	(820)	11,379

#### 4 会計方針の変更等(当中間連結会計期間)

「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更(有形固定資産の減価償却の方法の変更)及び(追加情報)」に記載の通り、有形固定資産の減価償却の方法を変更している。これらの変更により、従来と同様の方法によった場合と比較して、当中間連結会計期間の営業利益は、繊維事業が17百万円、建材事業が74百万円、グラスファイバー事業が140百万円、その他の事業が8百万円、消去又は全社が12百万円それぞれ減少している。

#### 5 営業費用のうち、「消去又は全社」に含めた金額及び主な内容は以下のとおり。

	前中間連結 会計期間 (百万円)	当中間連結 会計期間 (百万円)	前連結 会計年度 (百万円)	主な内容
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	367	317	820	当社の総務部門・財務部門等一般管理部門にかかる費用

## 2 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)及び前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

## 3 海外売上高

前中間連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	8,256	1,732	973	294	11,257
II 連結売上高(百万円)					67,588
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.2	2.6	1.4	0.4	16.7

当中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	9,924	1,610	686	244	12,466
II 連結売上高(百万円)					68,288
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.5	2.4	1.0	0.4	18.3

前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	16,884	3,313	1,738	504	22,441
II 連結売上高(百万円)					138,775
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.2	2.4	1.3	0.3	16.2

(注) 1 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっている。

2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおり。

アジア……………中国、台湾、香港等

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、イギリス、ロシア等

その他……………中南米、アフリカ、オセアニア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

## (1株当たり情報)

前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
1株当たり純資産額 271円34銭	1株当たり純資産額 294円41銭	1株当たり純資産額 283円68銭
1株当たり中間純利益金額 7円41銭	1株当たり中間純利益金額 14円47銭	1株当たり当期純利益金額 18円66銭
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式がないため記載していない。	同左	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していない。

## (注) 算定上の基礎

## 1 1株当たり純資産額

	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日)	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日)	前連結会計年度末 (平成19年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	68,880	74,808	72,025
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1,789	2,036	1,892
(うち少数株主持分)	(1,789)	(2,036)	(1,892)
普通株式に係る中間期末(期末)の純資産額 (百万円)	67,090	72,772	70,132
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末(期末)の普通株式の数 (千株)	247,257	247,181	247,221

## 2 1株当たり中間(当期)純利益金額

	前中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
中間(当期)純利益 (百万円)	1,832	3,576	4,615
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—	—
普通株式に係る中間(当期)純利益 (百万円)	1,832	3,576	4,615
期中平均株式数 (千株)	247,279	247,200	247,257

(重要な後発事象)

該当事項なし。

(開示の省略)

リース取引、有価証券、デリバティブ取引に関する注記事項については、中間決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略している。



## 5 中間財務諸表

## (1) 中間貸借対照表

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)			
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)		
(資産の部)									
I 流動資産									
1		現金及び預金	9,644		12,518		8,815		
2		受取手形	2,857		2,564		2,808		
3		売掛金	24,650		25,472		25,261		
4		たな卸資産	18,181		17,892		17,866		
5		繰延税金資産	1,539		730		972		
6		その他	2,861		2,358		2,232		
7		貸倒引当金	△7		△7		△7		
		流動資産合計	59,727	50.6	61,529	52.3	57,950	50.2	
II 固定資産									
1 有形固定資産									
(1)		建物	9,719		9,424		9,580		
(2)		機械及び装置	7,178		6,442		6,786		
(3)		土地	15,081		15,081		15,081		
(4)		その他	2,415		2,150		1,944		
		有形固定資産合計	34,394	29.1	33,099	28.1	33,393	28.9	
2 無形固定資産									
			1,211	1.0	1,292	1.1	1,237	1.1	
3 投資その他の資産									
(1)		投資有価証券	8,953		7,861		8,747		
(2)		関係会社株式	8,517		8,526		8,520		
(3)		長期貸付金	2,181		1,564		1,920		
(4)		その他	3,556		3,915		4,193		
(5)		貸倒引当金	△490		△156		△509		
		投資その他の資産合計	22,720	19.3	21,712	18.5	22,871	19.8	
		固定資産合計	58,325	49.4	56,104	47.7	57,502	49.8	
		資産合計	118,053	100.0	117,634	100.0	115,452	100.0	

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
I 流動負債								
1 支払手形		1,573		1,219		1,274		
2 買掛金		11,354		10,630		10,917		
3 短期借入金		6,432		11,744		9,054		
4 未払法人税等		161		927		1,005		
5 賞与引当金		1,110		1,170		1,140		
6 構造改善引当金		222		110		110		
7 CMS預り金		—		3,335		500		
8 その他		5,446		3,691		3,523		
流動負債合計		26,300	22.3	32,828	27.9	27,525	23.9	
II 固定負債								
1 長期借入金		21,724		11,480		15,736		
2 退職給付引当金		9,801		10,496		10,233		
3 修繕引当金		448		735		591		
4 その他		1,492		1,474		1,532		
固定負債合計		33,466	28.3	24,185	20.6	28,093	24.3	
負債合計		59,766	50.6	57,014	48.5	55,619	48.2	

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金		19,699	16.7	19,699	16.7	19,699	17.1	
2 資本剰余金								
(1) 資本準備金		19,029		19,029		19,029		
(2) その他資本剰余金		4,025		4,025		4,025		
資本剰余金合計		23,054	19.5	23,054	19.6	23,054	19.9	
3 利益剰余金								
その他利益剰余金								
固定資産圧縮 準備金		3,189		3,150		3,150		
特別償却準備金		11		6		6		
固定資産圧縮 特別勘定準備金		90		—		—		
別途積立金		3,000		3,000		3,000		
繰越利益剰余金		6,231		9,251		7,904		
利益剰余金合計		12,523	10.6	15,408	13.1	14,061	12.2	
4 自己株式		△ 77	△ 0.0	△ 109	△ 0.1	△ 92	△ 0.1	
株主資本合計		55,199	46.8	58,052	49.3	56,723	49.1	
II 評価・換算差額等								
その他有価証券 評価差額金		3,087		2,567		3,110		
評価・換算差額等 合計		3,087	2.6	2,567	2.2	3,110	2.7	
純資産合計		58,286	49.4	60,619	51.5	59,833	51.8	
負債純資産合計		118,053	100.0	117,634	100.0	115,452	100.0	

## (2) 中間損益計算書

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)		当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)			
I 売上高			40,828	100.0		41,164	100.0		82,638	100.0
II 売上原価			32,342	79.2		32,449	78.8		65,056	78.7
売上総利益			8,486	20.8		8,714	21.2		17,582	21.3
III 販売費及び一般管理費			5,804	14.2		5,842	14.2		11,710	14.2
営業利益			2,681	6.6		2,872	7.0		5,872	7.1
IV 営業外収益										
1 受取利息		55			63			110		
2 受取配当金		419			720			1,262		
3 その他		539	1,014	2.4	494	1,278	3.1	1,171	2,544	3.1
V 営業外費用										
1 支払利息		223			228			457		
2 その他		648	872	2.1	795	1,024	2.5	1,166	1,624	2.0
経常利益			2,823	6.9		3,126	7.6		6,792	8.2
VI 特別利益										
1 固定資産売却益		10			25			11		
2 投資有価証券売却益		614	625	1.5	—	25	0.1	614	626	0.8
VII 特別損失										
1 固定資産処分損		143			152			238		
2 たな卸資産整理損		39			—			689		
3 関係会社株式評価損		684			—			684		
4 構造改善特別損失		2,092			—			2,377		
5 その他		127	3,087	7.5	—	152	0.4	299	4,289	5.2
税引前中間(当期) 純利益			361	0.9		2,999	7.3		3,129	3.8
法人税、住民税及び 事業税		25			715			1,100		
法人税等調整額		264	289	0.7	196	911	2.2	419	1,519	1.9
中間(当期)純利益			71	0.2		2,088	5.1		1,610	1.9

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054
中間会計期間中の変動額				
平成18年6月定時株主総会における利益処分による準備金の取崩	-	-	-	-
平成18年6月定時株主総会における利益処分項目(注)	-	-	-	-
中間純利益	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	-	-	-	-
平成18年9月30日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金合計
	固定資産 圧縮準備金	特別償却 準備金	固定資産圧縮 特別勘定準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成18年3月31日残高(百万円)	5,802	16	106	-	7,266	13,193
中間会計期間中の変動額						
平成18年6月定時株主総会における利益処分による準備金の取崩	△ 3,262	△ 5	△ 106	-	3,375	-
平成18年6月定時株主総会における利益処分項目(注)	649	-	90	3,000	△ 4,482	△ 741
中間純利益	-	-	-	-	71	71
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	△ 2,613	△ 5	△ 16	3,000	△ 1,034	△ 670
平成18年9月30日残高(百万円)	3,189	11	90	3,000	6,231	12,523

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(百万円)	△ 64	55,882	4,049	4,049	59,932
中間会計期間中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における利益処分による準備金の取崩	-	-	-	-	-
平成18年6月定時株主総会における利益処分項目(注)	-	△ 741	-	-	△ 741
中間純利益	-	71	-	-	71
自己株式の取得	△ 13	△ 13	-	-	△ 13
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	△ 962	△ 962	△ 962
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	△ 13	△ 683	△ 962	△ 962	△ 1,645
平成18年9月30日残高(百万円)	△ 77	55,199	3,087	3,087	58,286

(注) 平成18年6月定時株主総会における利益処分項目は次のとおりである。

利益処分額	
1. 配当金	741百万円
2. 準備金等の積立	
固定資産圧縮準備金	649百万円
固定資産圧縮特別勘定準備金	90百万円
別途積立金	3,000百万円
合計	4,482百万円

当中間会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当	—	—	—	—
中間純利益	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	—	—
平成19年9月30日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054

	株主資本				
	利益剰余金				
	その他利益剰余金				利益剰余金合計
	固定資産 圧縮準備金	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成19年3月31日残高(百万円)	3,150	6	3,000	7,904	14,061
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	△ 741	△ 741
中間純利益	—	—	—	2,088	2,088
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	—	—	—	1,346	1,346
平成19年9月30日残高(百万円)	3,150	6	3,000	9,251	15,408

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高(百万円)	△ 92	56,723	3,110	3,110	59,833
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当	—	△ 741	—	—	△ 741
中間純利益	—	2,088	—	—	2,088
自己株式の取得	△ 17	△ 17	—	—	△ 17
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	△ 543	△ 543	△ 543
中間会計期間中の変動額合計(百万円)	△ 17	1,329	△ 543	△ 543	785
平成19年9月30日残高(百万円)	△ 109	58,052	2,567	2,567	60,619

## 前事業年度の株主資本等変動計算書(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054
事業年度中の変動額				
平成18年6月定時株主総会における利益処分による任意積立金取崩項目	-	-	-	-
平成18年6月定時株主総会における利益処分項目	-	-	-	-
特別償却準備金の取崩	-	-	-	-
固定資産圧縮準備金の取崩	-	-	-	-
固定資産圧縮準備金の積立	-	-	-	-
固定資産圧縮特別勘定準備金の取崩	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計(百万円)	-	-	-	-
平成19年3月31日残高(百万円)	19,699	19,029	4,025	23,054

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金合計
	固定資産圧縮準備金	特別償却準備金	固定資産圧縮特別勘定準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
平成18年3月31日残高(百万円)	5,802	16	106	-	7,266	13,193
事業年度中の変動額						
平成18年6月定時株主総会における利益処分による任意積立金取崩項目	△ 3,262	△ 5	△ 106	-	3,375	-
平成18年6月定時株主総会における利益処分項目	649	-	90	3,000	△ 4,482	△ 741
特別償却準備金の取崩	-	△ 4	-	-	4	-
固定資産圧縮準備金の取崩	△ 129	-	-	-	129	-
固定資産圧縮準備金の積立	90	-	-	-	△ 90	-
固定資産圧縮特別勘定準備金の取崩	-	-	△ 90	-	90	-
当期純利益	-	-	-	-	1,610	1,610
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計(百万円)	△ 2,652	△ 9	△ 106	3,000	637	868
平成19年3月31日残高(百万円)	3,150	6	-	3,000	7,904	14,061



	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(百万円)	△ 64	55,882	4,049	4,049	59,932
事業年度中の変動額					
平成18年6月定時株主総会における 利益処分による任意積立金取崩項目	—	—	—	—	—
平成18年6月定時株主総会における 利益処分項目	—	△ 741	—	—	△ 741
特別償却準備金の取崩	—	—	—	—	—
固定資産圧縮準備金の取崩	—	—	—	—	—
固定資産圧縮準備金の積立	—	—	—	—	—
固定資産圧縮特別勘定準備金の取崩	—	—	—	—	—
当期純利益	—	1,610	—	—	1,610
自己株式の取得	△ 28	△ 28	—	—	△ 28
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	—	—	△ 938	△ 938	△ 938
事業年度中の変動額合計(百万円)	△ 28	840	△ 938	△ 938	△ 98
平成19年3月31日残高(百万円)	△ 92	56,723	3,110	3,110	59,833